

“人が動きたくなる関わり方” 令和のリーダーシップ論の実践書

【ザ・ホスピタリティチーム】



代表取締役
ホスピタリティコンサルタント
船坂光弘氏

ザ・ホスピタリティチーム(東京都目黒区)代表取締役でホスピタリティコンサルタントの船坂光弘氏が、11月11日、新刊『部下が自ら動きたくなるリーダーシップ』(太陽出版、価格1800円＋税)を発売した。

17年間にわたるホテルマンとしての様々な経験を経て、2008年にザ・ホスピタリティを創業。ホスピタリティ業界専門の経営課題を解決するプロフェッショナルとして、のべ500社以上のコンサルティング・研修を行ってきた船坂氏が、ホスピタリティを組織文化の土台となる価値観として捉え、人が自ら動きたくなる関係性を構築するための具体的な思考と行動習慣を示した。

船坂氏は「成果や効率を重視するあまり、仕事に喜びや誇りを持ってない、消耗型の働き方」が広がり、指示待ち・責任回避・人間関係の希薄化が進み、さらにハラスメントを恐れて「関わらないリーダー」が増えていると感じる。ホテリアとしての『幸福度』と『業績』は、決して相反せず、むしろ同じ根から生まれている。『スタッフの笑顔なくして、お客様の笑顔はない』という考えのもと、組織の土台にホスピタリティをインストールし、互いが尊重し、努力を認め合うような承認と対話の積み重ねが、職場に笑顔と心理的な安堵を取り戻し、おもてなしが生まれると考える」と語る。

